

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第23週 > 咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-5

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第15週から緩やかな増加傾向が認められ、第22週の報告数は100例を超えたが、第23週はやや減少して80例であった



病原体情報
P.6-7

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年 / 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年



速報
P.8-9

麻しん罹患後に急性脳炎で死亡した成人女性例



海外感染症情報
P.10-11

スーダン南部でのエボラ出血熱流行 - 更新 / 米国でのウエストナイル熱 - 更新



感染症の話
P.12-14

< 伝染性紅斑 > 第5病(Fifth disease)とも呼ばれ、頬に出現する蝶翼状の紅斑を特徴とし、小児を中心にしてみられる流行性発疹性疾患である



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(23週)
P.15-21



23週のデータ
P.22-31



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

第23週コメント 6月10日集計分

全数報告の感染症

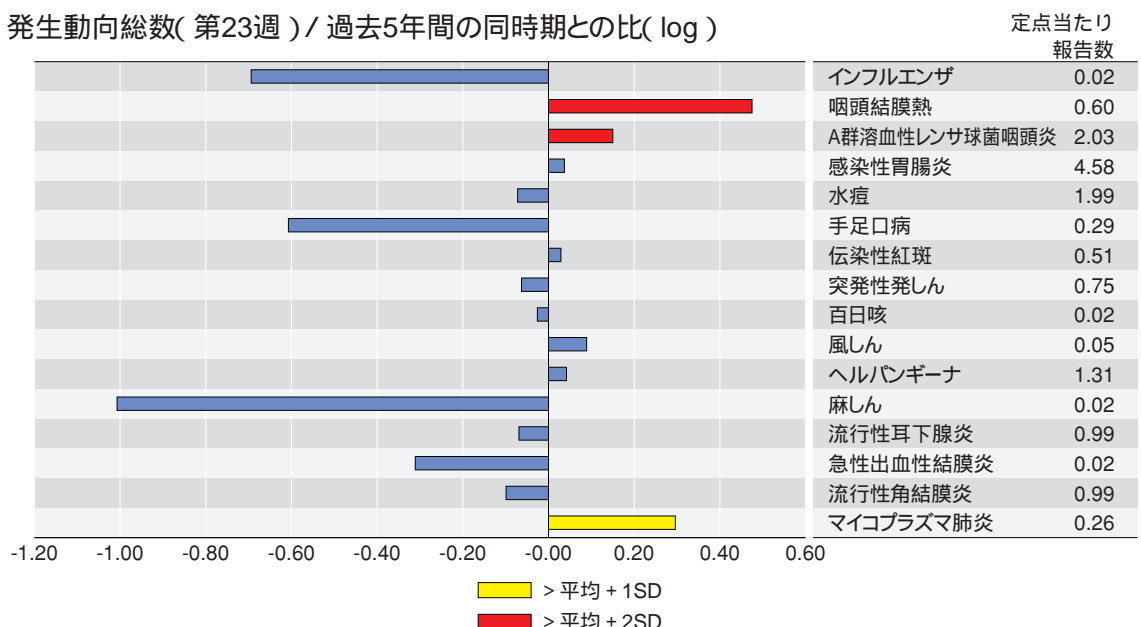
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 4例(推定感染地域: 国内1例、インド1例、タイ1例、インドネシア1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: その他(アジア))
パラチフス 1例(推定感染地域: インド/ネパール)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 80例(うち有症者57例)
報告の多い都道府県: 岡山県(17例)、東京都(6例)、長崎県(6例)、沖縄県(6例)
血清型・毒素型: O157 VT2(24例)、O157 VT1・VT2(23例)、O26 VT1(22例)、O26 VT1・VT2(3例)、O157 VT1(1例)、O26 VT2(1例)、その他(6例)
年齢: 10歳未満(30例)、10代(9例)、20代(16例)、30代(6例)、40代(4例)、50代(8例)、60代(4例)、70歳以上(3例)
 - 4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: ハト)
つつが虫病 7例(秋田県(2)、福島県(1)、新潟県(2)、岐阜県(1)、京都府*(1))*死亡
日本紅斑熱 1例(徳島県)
マラリア 1例(三日熱(推定感染地域: インドネシア))
レジオネラ症 6例(50代(2例)、60代(3例)、70代(1例))
A型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例、フィリピン1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 8例(推定感染地域: 国内6例、不明2例、推定感染経路: 性的接触4例、不明4例)
ウイルス性肝炎 3例(いずれもB型、推定感染経路: 性的接触2例、不明1例)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(56歳)
後天性免疫不全症候群 9例(無症候7例、AIDS 1例、その他1例)
推定感染経路: 性的接触9例(異性間3例、同性間6例)
推定感染地域: 国内7例、タイ1例、不明1例
ジアルジア症 1例(推定感染地域: 国内)
梅毒 13例(早期顕症1期1例、早期顕症II期3例、無症候9例)
破傷風 2例(44歳、73歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例(遺伝子型: ともにVanB__菌検出検体: ともに便)
- (補)他に、腸管出血性大腸菌感染症1例の報告があったが、削除予定。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第23週)/過去5年間の同時期との比(log)



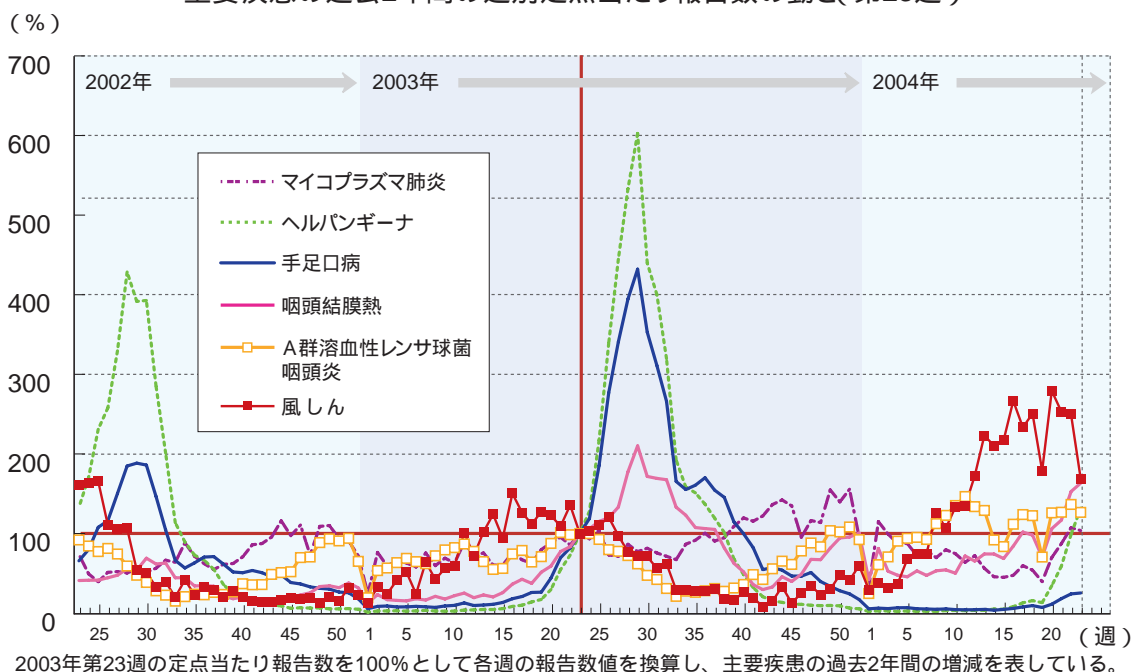
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第23週も増加した。本年に入ってから相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示している。都道府県別では福井県(2.2)、富山県(1.8)、宮崎県(1.8)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第16週から増加傾向が認められていたが、第23週は減少した。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では山形県(5.1)、新潟県(4.1)、鳥取県(4.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いており、第23週も減少した。都道府県別では福井県(9.5)、大分県(9.1)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から緩やかに増加しており、都道府県別では沖縄県(1.8)、兵庫県(1.5)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少したが、都道府県別では栃木県(0.3)、群馬県(0.3)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週から増加傾向が認められ、第23週も増加し、都道府県別では福井県(6.1)、愛媛県(6.1)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週と同値で、過去10年間と比較して少なく推移している。都道府県別では徳島県(0.3)、栃木県(0.2)が多い。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて29都道府県から報告がなされ、報告数は合計21例であった。

眼科定点報告疾患：流行性角結膜炎の定点当たり報告数は第3週からほぼ横ばいで推移しているが、都道府県別では沖縄県(10.0)が非常に多い。

基幹定点報告疾患：無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では栃木県(0.6)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では茨城県(1.3)、山形県(1.2)が多い。

主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第23週)





注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が診断した医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。過去3年間の報告数は、2001年4,435例、2002年3,183例、2003年2,636例(暫定)である。

2004年においては、第15週から緩やかな増加傾向が認められ、第22週の報告数は100例を超えたが、第23週はやや減少して80例であった*(図1)。有症者は57例で全体の71%であった。年齢階級別(5歳毎)では、0~5歳が23例で最も多く、2例(2歳女児、4歳女児)に溶血性尿毒症症候群(HUS)がみられている。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性もあり、そのような発生があった場合には修正報告をお願いしているが、今年に入って死亡例の報告はなく、HUSの報告は11例である。

第23週までの累積報告数を都道府県別にみると、岡山県(76例)、東京都(60例)、大阪府(38例)、兵庫県(34例)が多い。第23週に限ると、岡山県(17例)、東京都(6例)、長崎県(6例)、沖縄県(6例)が多かった(図2)。報告の多くは散发事例であるが、岡山県の症例の多くは、第22週から発生しているO26 VT1による保育園での集団発生に関連した報告である。

第23週までの報告例について血清型・毒素型をみると、O157 VT1・VT2が175例と最も多く、次いでO157 VT2が171例、O26 VT1が113例となっている。

第23週までの累積報告数は567例(各年同時期 : 2001年995例、2002年646例、2003年440例)であり、現在のところ、例年に比べて特に多いというわけではないが、例年報告のピークは夏季にあり、今後さらに増加することが予想されるので、一層の注意が必要である。

*第23週分中の削除予定の1例を除き、コメントしています。また、病原体情報については6ページも参照して下さい。

図1 . 腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)の週別発生状況

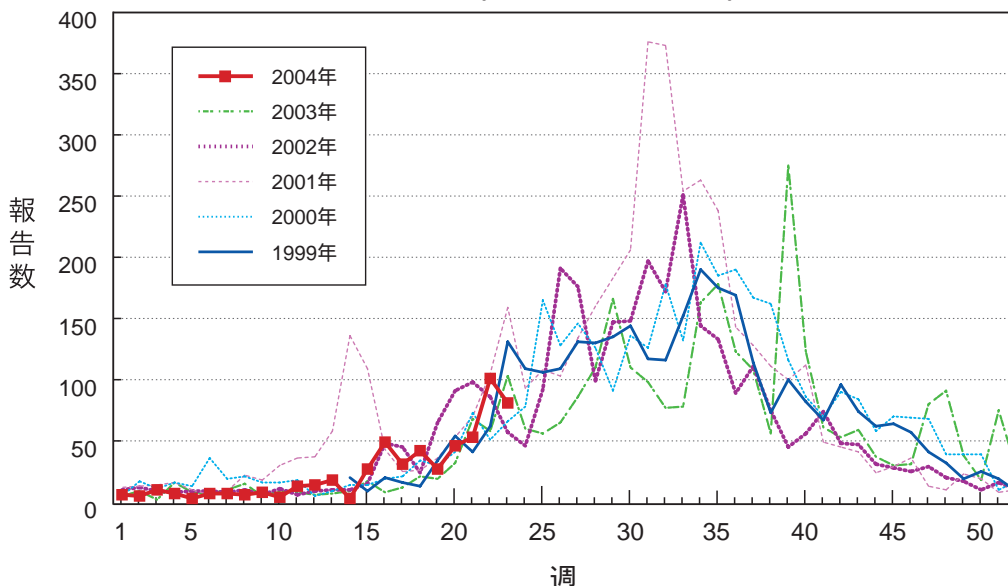
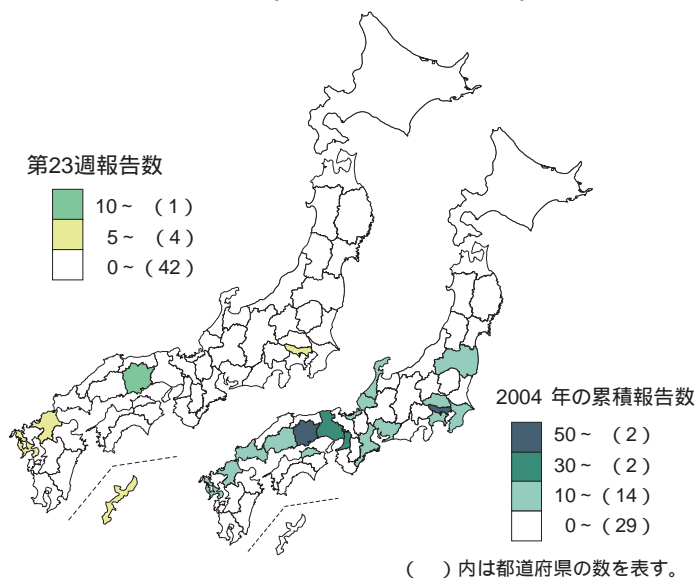


図2 . 腸管出血性大腸菌感染症（無症状保菌者含む）の都道府県別発生状況





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

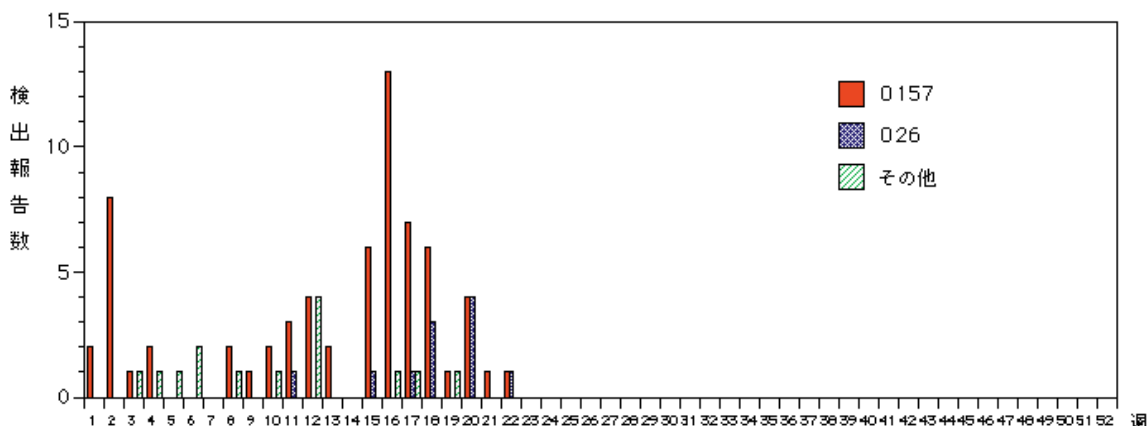
(2004年6月11日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

検出総数は91件で、うちO157が66件、O26が11件、その他の血清型が14件報告されている。第16週はO157が石川県(4件)と三重県(6件)からの報告を中心に13件の検出が報告されている。第15、16週に石川県から報告されているO157(VT2)計8件は、いずれも散発または家族内発生事例からの報告であるが、同一のPFGE型を示しており、福井県、岡山県、香川県の散発例からも同タイプの菌が検出されている(IDWR2004年第16号P.10「注目すべき感染症」参照)。また、第16、17週に三重県の福祉・養護施設で起きた集団発生事例からO157(VT1&2)が7件報告されている。

最近では、O157が第21週に熊本県から1件(VT1&2)、第22週に大阪府から1件(VT1&2)、O26が第22週に宮城県から1件(VT1)が報告されており、いずれも散発または家族内発生事例である。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2004年 (病原微生物検出情報: 2004年6月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



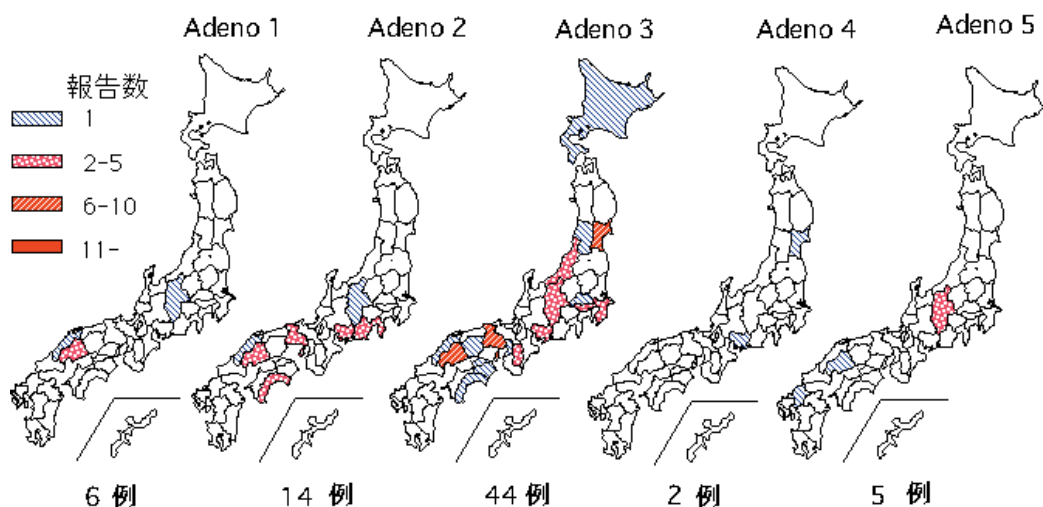
Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年

これまでに計72件のアデノウイルスが報告されており、年初よりアデノウイルス3型(Ad3)の報告が目立っている。Ad3は18都道府県から44件(宮城県7、兵庫県6、広島県6、千葉県4、愛知県3、奈良県3、東京都、新潟県、長野県各2など)が報告されている。次いでAd2が7県から14件(静岡県3、高知県3、愛知県、兵庫県、広島県各2、長野県、島根県各1)、Ad1が3県から6件(広島県4、長野県、島根県各1)、Ad5が3県から5件(長野県3、広島県、福岡県各1)、Ad4が2件(宮城県、愛知県各1)、Ad6が1件(福岡県1)報告されている。

都道府県別咽頭結膜熱患者からの主なウイルス検出状況、2004年

(病原微生物検出情報: 2004年6月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

本年(2004年)は、エコーウイルス(E)が12件報告されており、E6が4件(高知県、広島県、福岡県、熊本県各1)、E30が4件(福島県3、奈良県1)、E13が2件(大阪府2)、E18、E27が大阪府から各1件報告されている。B群コクサッキーウイルス(CB)は10件の報告で、うちCB3が5件(香川県5)、CB1が3件(千葉県2、広島県1)、CB5が2件(大阪府、奈良県各1)である。また、ムンプスウイルスが7件(奈良県3、東京都、広島県、岩手県、大阪府各1)報告されている。



麻疹罹患後に急性脳炎で死亡した成人女性例

新潟市では2003年12月下旬より、小中高校で麻疹の発生が報告されており、市報や教育委員会からの通知にて、未接種児童・生徒に対する予防接種の勧奨、麻疹に対する知識の普及に努めてきた。新潟市での感染症発生動向調査上の小児科定点からの報告では、教育委員会の報告に見られる2003年末の流行状況は把握されず、2004年においても第9週の7件(定点当たり0.70)をピークに、その後は週0～3件の報告で、第21週現在も週1件程度の報告である。また、基幹定点からの成人麻疹の報告は、新潟市近傍の保健所で第13週に1件のみであった。

このような流行状況のなか、5月11日、麻疹罹患後に急性脳炎で死亡した成人女性例の届出があったので、この症例の経過について報告する。

症例は28歳の女性で専業主婦である。子供2人(5歳・2歳)は、近所のかかりつけ小児科医(A医院)で麻疹の予防接種は実施済みであったが、患者本人には麻疹の予防接種歴も罹患歴もなかった。現病歴では発症前、子供の感冒のためにA医院に頻回に通院していたとのことであった。

4月7日に37.5 の発熱と咳があり、翌8日にA医院で抗菌薬の処方を受けたが、その後顔面に発疹が出現、9日の夜間より38～39 の高熱が出現した。10日に近くのB内科医院を受診し、急性気管支炎として抗菌薬の点滴を受けるが改善傾向はなく、発疹が全身に拡大した。11日にC総合病院の救急外来を受診し、コプリック斑を認めて麻疹と診断され、皮膚科に入院となった。入院時検査所見では、白血球数2,900/ μ l、血小板数 12.1×10^4 / μ l、CRP 3.3mg/dl。麻疹に対する血清抗体検査で、IgG(+)EIA値5.3(正常2.0未満)、IgM(+)抗体指数13.39(正常0.80未満)とIgM抗体が検出された。

12日には呼吸困難が出現し、胸部X線検査にて肺炎の所見が認められた。14日からは解熱し、発疹も改善傾向が認められたが、食欲不振が続いていた。15日深夜に訪室した看護師により、ベッド脇に尿失禁状態で座り込んでいるところを発見された。その後急速に意識障害が進行し、翌朝の脳CT・MRIにて著明な脳浮腫の所見が認められたが、出血や腫瘤形成などみられず、麻疹による脳炎の疑いで、同日、専門的管理のためD病院神経内科に転院し、人工呼吸器管理となった。意識レベルはJCS100/300と昏睡レベルで、刺激により除皮質硬直姿勢をとり、脳波では全般性徐波と一部棘徐波複合が見られた。16日にはショック状態となり、脳幹反射も消失し、17日の脳波はほぼ平坦となり、28日に永眠された。意識障害が出現した後の髄液検査は、脳圧亢進のため実施しておらず、また、剖検は行われなかった。

本症例の麻疹は、子供の感冒のため通院していたA小児科医院で感染した可能性が高い。A医院では麻疹患者を診断した際、同時に受診していた小児に対しては、 γ -グロブリン投与や予防接種の勧奨を行っていた。患者は子供への予防接種は行っていたが、自身の罹患歴やワクチン接種歴はなかった。経過は順調と思われたが、急激に脳症を発症し、不幸な転帰をとった。

新潟市では麻疹対策として、流行情報の広報や、各乳幼児健診、就学時健診などの機会を利用して予防接種を勧奨している。また、教育委員会からは保健所に対し、小中高校での麻疹流行状況についての情報提供が、罹患した児童・生徒の罹患歴・接種歴などのプロフィールとともになされており、協力して対策をとっているが、小児科定点からの報告では把握できない流行を検知でき、有用である。

新潟市の麻疹ワクチン接種率は平成15年度で88.9%であるが、教育委員会から報告される罹患児のプロフィールからは、未接種例がまだかなりの数存在することが伺え、今後さらに関係機関と連携し、実態調査、接種強化策を進めていきたい。

また、麻疹に対し感受性を有する成人が親世代となっていることから、流行時には小児だけでなく親への対応も重要であり、成人麻疹を診る機会の多い皮膚科や内科などの医療機関に対する注意喚起も必要である。今後は、医療機関・学校・保育園職員など感染の危険を有するグループに対して、非流行時から対策を行うことも検討していきたい。

新潟市保健所 保健予防課 感染症対策係

(IASR2004年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

スーダン南部でのエボラ出血熱流行 - 更新

WHO/CSR 2004年6月11日

スーダン南部Western Equatoria州Yambio郡において、7名の死亡者を含む総計30名のエボラ出血熱患者(致死率23%)が同郡保健当局から報告された(既報参照)。現在157名の接触者を経過観察中である。

積極的な社会的動員活動が実施されている。エボラ出血熱に関する重要事項と必要な予防法を周知させるために、この地区の教師94名を含むワークショップが組織された。訓練された職員により、患者やその家族への情報提供とカウンセリングが病院で実施されている。保健教育教材が作成され、学校やその他のコミュニティーセンターで配布される見込みである。

今後数日間にわたって、Yambioの市場や、コミュニティーおよび教会に対して配布される予定のリーフレット: <<http://www.who.int/csr/don/en/EbolaLeafletEnglish.pdf>>

米国でのウエストナイル熱 - 更新

米国における2004年のウエストナイルウイルス活動性、2004年6月15日現在
CDC/Westnile Statistics, Surveillance, and Control

http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount04_detailed.htm

(2004/1/1 ~ 2004/6/15)

州	神経侵襲性 ¹⁾	ウエストナイル熱 ²⁾	他/不明 ³⁾	ヒト患者数	死亡者数
アリゾナ	8	2	0	10	0
カリフォルニア	0	1	0	1	0
ニューメキシコ	0	1	0	1	0
サウスダコタ	1	0	0	1	0
ワイオミング	0	1	0	1	0
合計	9	5	0	14	0

1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。

2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。

3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。

鳥または動物の感染をCDC ArboNETに報告した州、2004年6月8日現在
<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&control04Maps.htm>

アラバマ、アリゾナ、アーカンソー、カリフォルニア、フロリダ、ジョージア、イリノイ、インディアナ、ケンタッキー、ルイジアナ、ミシガン、ミシシッピ、ミズーリ、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、オクラホマ、ペンシルバニア、テキサス

(前回報告後、インディアナとミズーリが追加された)

アリゾナ州公衆衛生緊急準備対策局

疾患警報/ウエストナイルウイルス警報 2004年5月28日

アリゾナ州Maricopa郡公衆衛生部は、2004年に2例目のウエストナイルウイルス感染者を確認した。この患者はNorth Valley在住の60歳台の男性で、2004年5月17日にWNV 関連症状を発症し、Valley病院に入院した。幸いなことに、この患者は治療後回復している。

また、Maricopa郡環境局の調査では、このValleyでWNV陽性の蚊が9群、WNV感染ウマが3頭、WNV感染のトリが1羽発見されている。

Maricopa郡全域の住民に対し、WNV感染予防のための一般的な予防を呼びかけている。
(<http://www.hs.state.az.us/phs/azhan/alerts/han3.htm>)

カリフォルニアアルボウイルスサーベイランス広報 #8

2004年6月11日

ヒト: San Bernardino郡在住の40才女性が、カリフォルニア州で2004年最初のウエストナイルウイルス(WNV)感染者になった。この患者は発熱、頭痛、筋肉痛で5月17日に発病した。5月19日までに、非搔痒性の発疹が体幹と四肢に出現し、脱力と倦怠感を訴えた。5月23日と26日に病院外来を受診し、WNV検査のために血液を採取した。委託検査機関でのWNVスクリーニング検査の結果陽性のため、検体はDHS Viral and Rickettsial Disease Laboratory(VRDL)に送付され、PRNT検査によりWNVが確認された。この患者は、頭痛と倦怠感の症状が残った以外は回復した。

(http://vector.ucdavis.edu/pdf_files/arbosummary.pdf)



感染症の話

伝染性紅斑

伝染性紅斑(Erythema infectiosum)は第5病(Fifth disease)とも呼ばれ、頬に出現する蝶翼状の紅斑を特徴とし、小児を中心にしてみられる流行性発疹性疾患である。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもある。本症の病因は長く不明であったが、1983年にヒトパルボウイルスB19(human parvovirus B19 : 以下B19)であることが提唱され、その後の研究によって確実なものとなった。病因が明らかになったことに伴って、本症の周辺には多くの非定型例や不顕性感染例があること、多彩な臨床像があることなども明らかになった。

疫学

感染症発生動向調査(1981年7月から)によると、1987年、1992年、1997年、2001年とほぼ5年ごとの流行周期で発生数の増加がみられている。年によって若干のパターンの違いはあるものの、年始から7月上旬頃にかけて症例数が増加し、9月頃症例が最も少なくなる季節性を示すが、流行が小さい年には、はっきりした季節性がみられないこともある。同調査で得られた患者の年齢分布(5歳毎)では5~9歳での発生がもっとも多く、ついで0~4歳が多い。小児科定点疾患としての調査であるため、成人における発生状況の詳細は不明であるが、臨床の場ではしばしば経験され、看護学生・看護師などの病院内感染による成人での集団感染事例の報告もある。

病原体

単鎖DNAウイルスの、パルボウイルス科パルボウイルス亜科エリスロウイルス属に属するヒトパルボウイルスB19である。正式名称としてエリスロウイルスB19が提唱されているが、ヒトパルボウイルスB19(または、単にパルボウイルスB19)の名称が依然として一般的に用いられている。レセプターは赤血球膜表面にあるP抗原で、P抗原保有細胞、特に赤芽球前駆細胞に感染し、増殖する。

臨床症状

10~20日の潜伏期間の後、頬に境界鮮明な紅い発疹(蝶翼状 - リンゴの頬)が現れ(写真1)、続いて手・足に網目状・レース状・環状などと表現される発疹がみられる(写真2)。胸腹背部にもこの発疹が出現することがある。これらの発疹は1週間前後で消失するが、なかには長引いたり、一度消えた発疹が短期間のうちに再び出現することがある。成人では関節痛・頭痛などを訴え、関節炎症状により1~2日歩行困難になることがあるが、ほとんどは合併症をおこすことなく自然に回復する。なお、頬に発疹が出現する7~10日くらい前に、微熱や感冒様症状などの前駆症状が見られることが多いが、この時期にウイルス血症をおこしており、ウイルスの排泄量ももっとも多くなる。発疹が現れたときにはウイルス血症は終息しており、ウイルスの排泄はほとんどなく、感染力はほぼ消失している。通



写真1 . 両側の頬に出現した蝶翼状の発疹

常は飛沫または接触感染であるが、ウイルス血症の時期に採取された輸血用血液による感染もある。

伝染性紅斑は当初異型の風疹として発表され、その後独立疾患であることが確立された。これまでも、伝染性紅斑は風疹の流行時期と重なることが少なくなく、典型的な伝染性紅斑では臨床診断を誤ることはないが、非典型例では風疹との鑑別が困難である。英国において行われた血清調査では、風疹と診断された患者の半数がB19感染であったことが述べられている。また不顕性感染があり、特に成人に多い。さらに、成人では発症しても典型的な発疹を伴う頻度が低く、風疹と診断されている例は小児より多いと推察される。

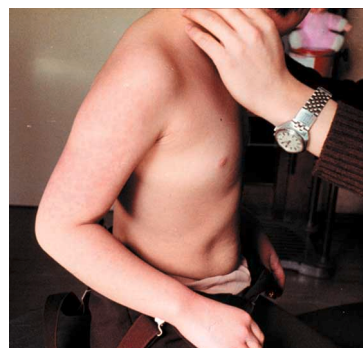


写真2 . 上肢伸側に出現した発疹

B19感染像の拡がり - 伝染性紅斑のみではないB19感染症

伝染性紅斑は典型的なB19感染症の臨床像であるが、B19感染症の臨床像は単に伝染性紅斑にとどまらない。溶血性貧血患者がB19感染を受けると重症の貧血発作(aplastic crisis)を生ずることがある他、関節炎・関節リウマチ、血小板減少症、顆粒球減少症、血球貪食症候群(VAHS/HPS)や、免疫異常者における持続感染なども伝染性紅斑に合併、あるいは独立してみられる。

胎児感染 - 胎児水腫

B19感染症で注意すべきものの一つとして、妊婦感染による胎児の異常(胎児水腫)および流産がある。妊娠前半期の感染の方がより危険であり、胎児死亡は感染から4～6週後に生ずることが報告されているが、妊娠後半期でも胎児感染は生ずるとの報告もあり、安全な時期について特定することはできない。しかし一方では、妊婦のB19感染が即胎児の異常に結びつくものではなく、伝染性紅斑を発症した妊婦から出生し、B19感染が確認された新生児でも妊娠分娩の経過が正常で、出生後の発育も正常であることが多い。さらに、生存児での先天異常は知られていない。したがって、妊婦の風疹感染ほどの危険性は少ないが、超音波断層検査などで胎児の状態をよく把握することが必要である。

血漿分画製剤からのB19感染リスク

厚生省薬務局発医薬品副作用情報によると、今般、各種血漿分画製剤中にB19DNAがPCR法で検出されたとする文献が企業より報告されている。B19は他のウイルスに比べて加熱やフィルタ - などによる不活化・除去が容易でないため、製剤中への混入の可能性を否定し得ないこと、また、B19ウイルス感染症が一般的には予後良好であるものの、一部の患者に感染した場合には重篤な症状を招くことがあるとされているため、血漿分画製剤の使用上の注意事項として、ことに妊婦、溶血性・失血性患者、免疫不全患者、免疫抑制状態の患者に対する使用にあたって注意を喚起している。なお、免疫グロブリン製剤については、製剤中の抗体によって感染性が失われている可能性も考えられるが、そのことを示す十分な根拠がないため、他の製剤と同様に使用上の注意事項を変更している。

病原診断

ウイルスを分離することが病原診断の基本であるが、B19は骨髄、胎児肝、臍帯血などの赤芽球系前駆細胞と、一部の赤白血病細胞株でしか増殖できず、通常の組織培養を用いたウイルス分離培養は現在のところ困難である。PCR法による遺伝子の検出も可能であるが、B19を対象にする場合、健康保険による診療での制約がある。したがって、殆どの場合血清学的診断を行うが、ペア血清について酵素抗体法(ELISA)により特異的IgG抗体の上昇を確認するか、あるいは、急性期に特異的IgM抗体を検出することで診断する。

治療・予防

特異的な治療法はなく、対症療法のみである。免疫不全者における持続感染、溶血性貧血患者などでは、γグロブリン製剤の投与が有効なことがある。

前述したとおり、紅斑の時期にはほとんど感染力がないので、二次感染予防策の必要はない。また、ウイルス排泄期には特徴的な症状を示さないため、実際的な二次感染予防策はない。現在のところワクチンはない。妊婦などは、流行時期に感冒様症状の者に近づくことを避け、万一感染した場合には、胎児の状態を注意深く観察する。

感染症法における取り扱い

伝染性紅斑は5類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関より毎週報告されている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの。

1. 左右の頬部の紅斑の出現
2. 四肢の網目状の紅斑の出現

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの。

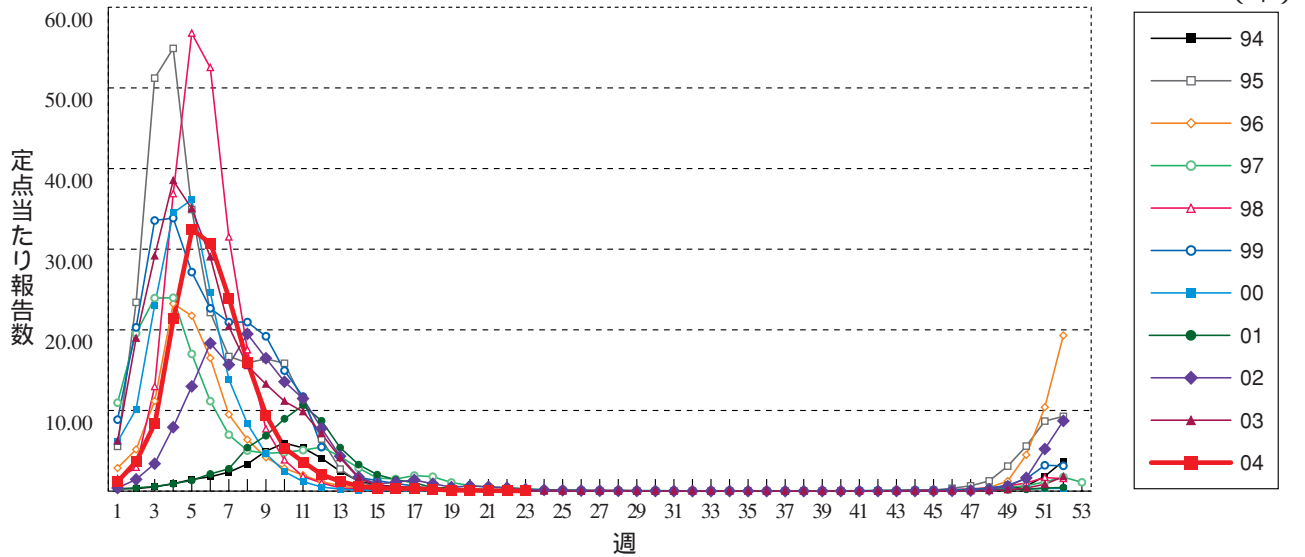
学校保健法における取り扱い

伝染性紅斑は学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定はされておらず、一律に「学校長の判断によって出席停止の扱いをするもの」とはならない。したがって、欠席者が多くなり授業などに支障をきたしそうな場合、流行の大きさあるいは合併症の発生などから保護者の間で不安が多い場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校伝染病としての扱いをすることがあり得る病気」と解釈される。通常の学校などでの対応のめやすとしては、発疹が現れたときには感染力はほとんどなくなっているため、発疹のみで全身状態の良いものについては登校が可能であると考えられる。ただし急性期には、症状の変化に注意しておく必要がある。

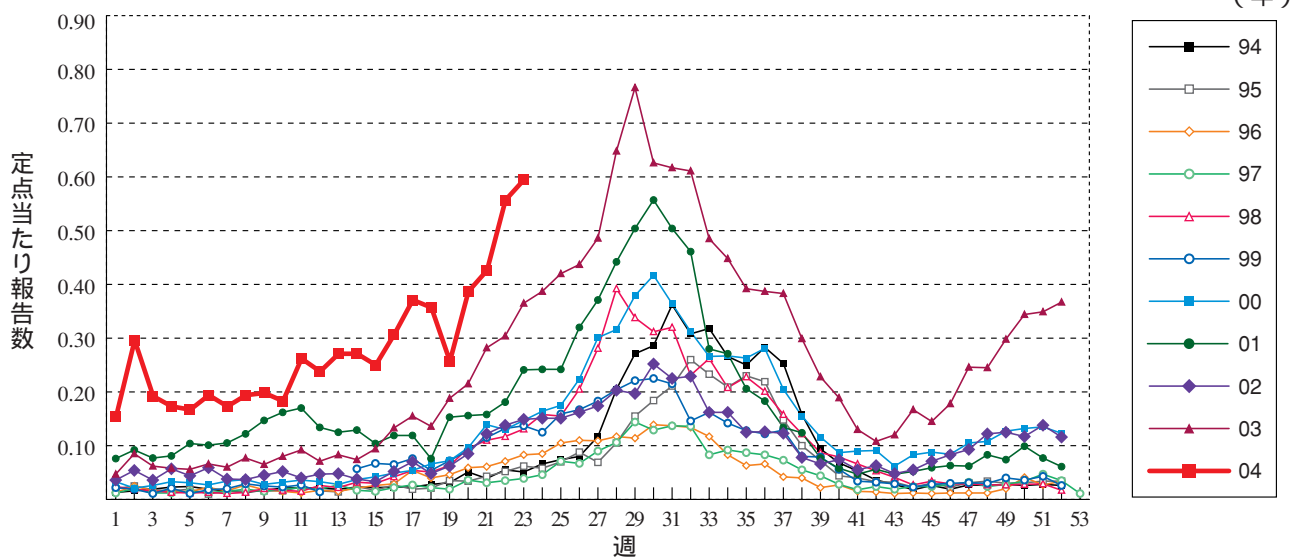
(国立感染症研究所感染症情報センター 多田有希 岡部信彦)

グラフ総覧(23週)

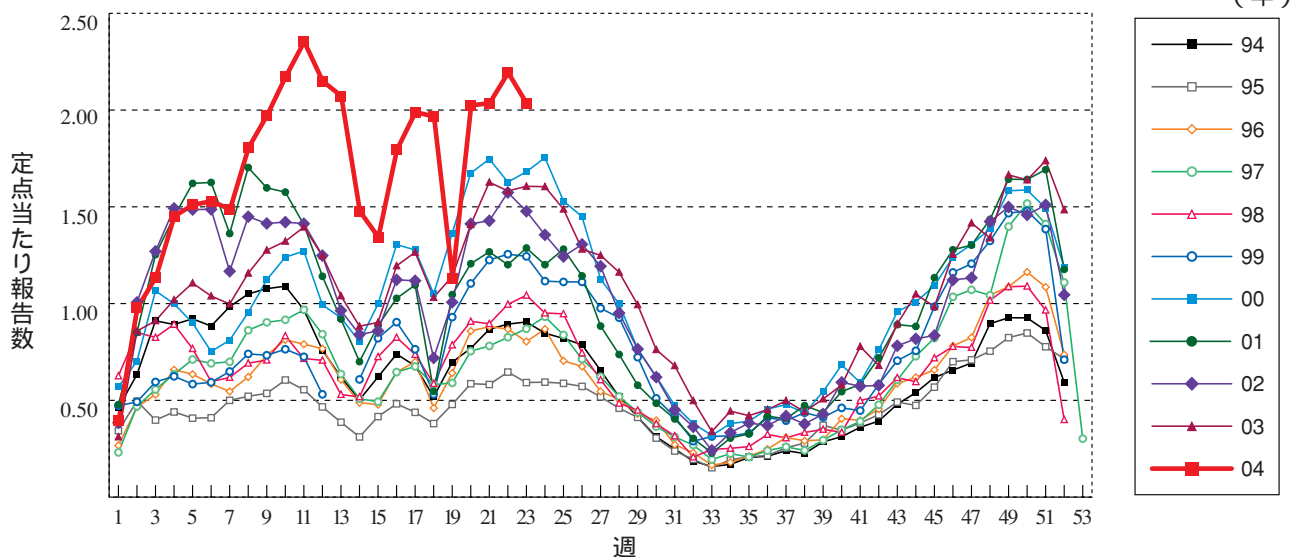
インフルエンザ



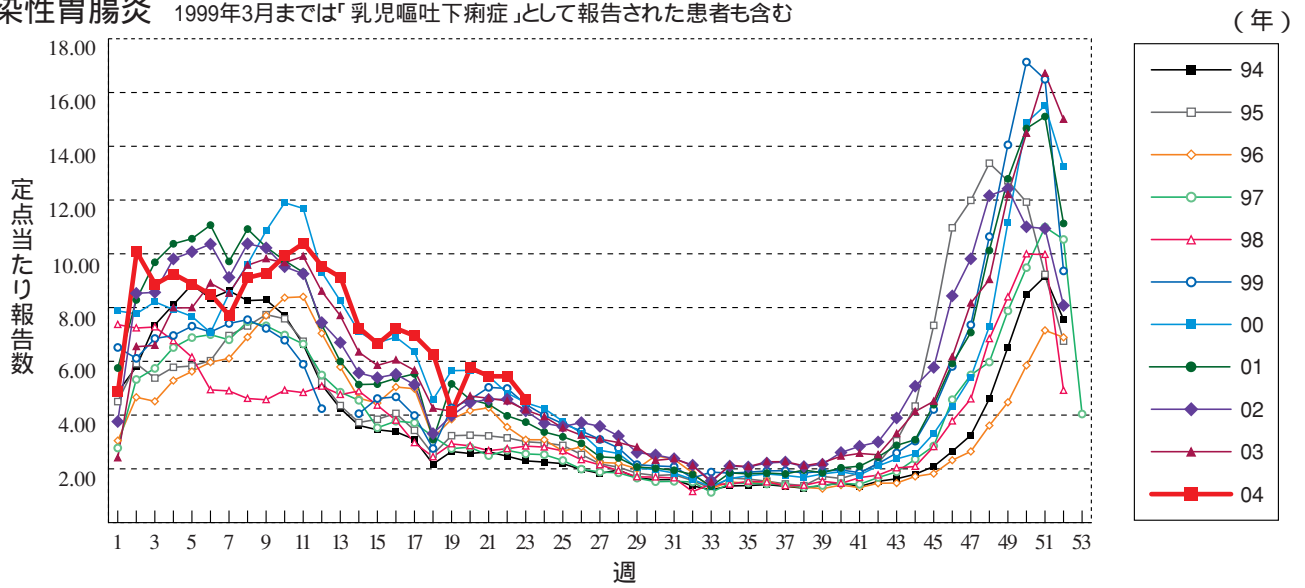
咽頭結膜熱



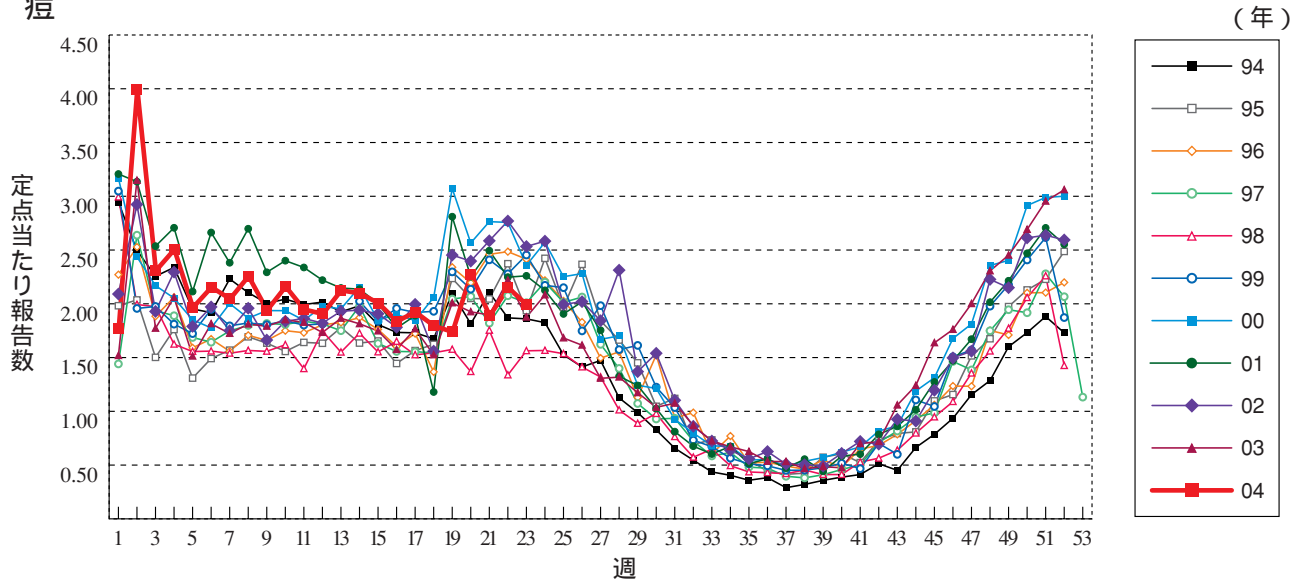
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



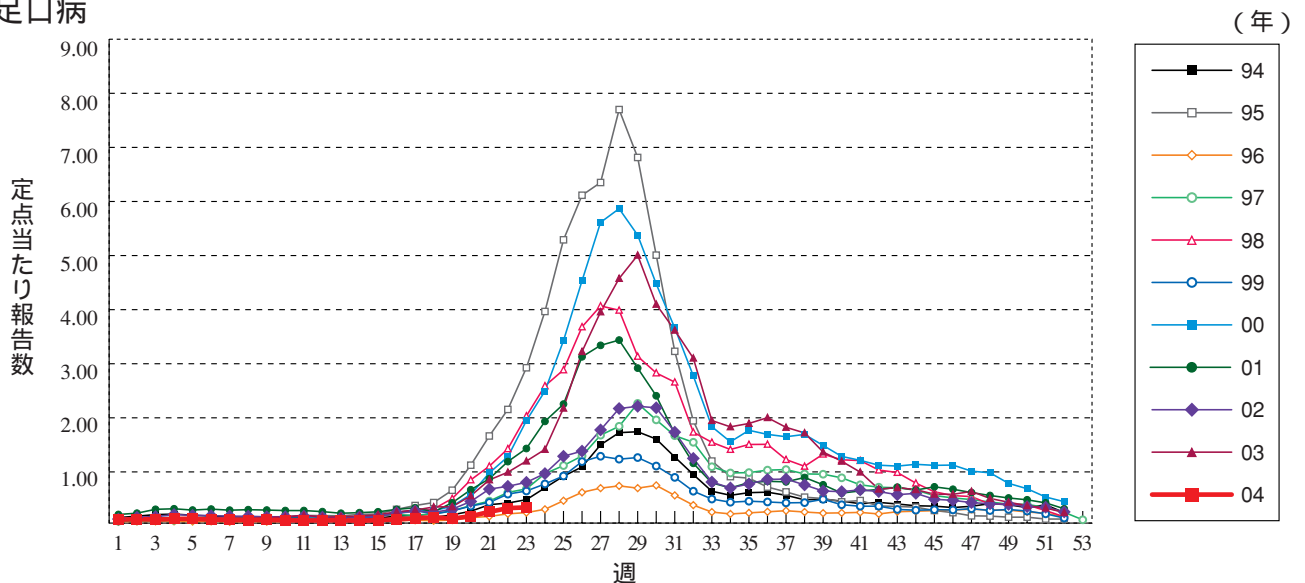
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



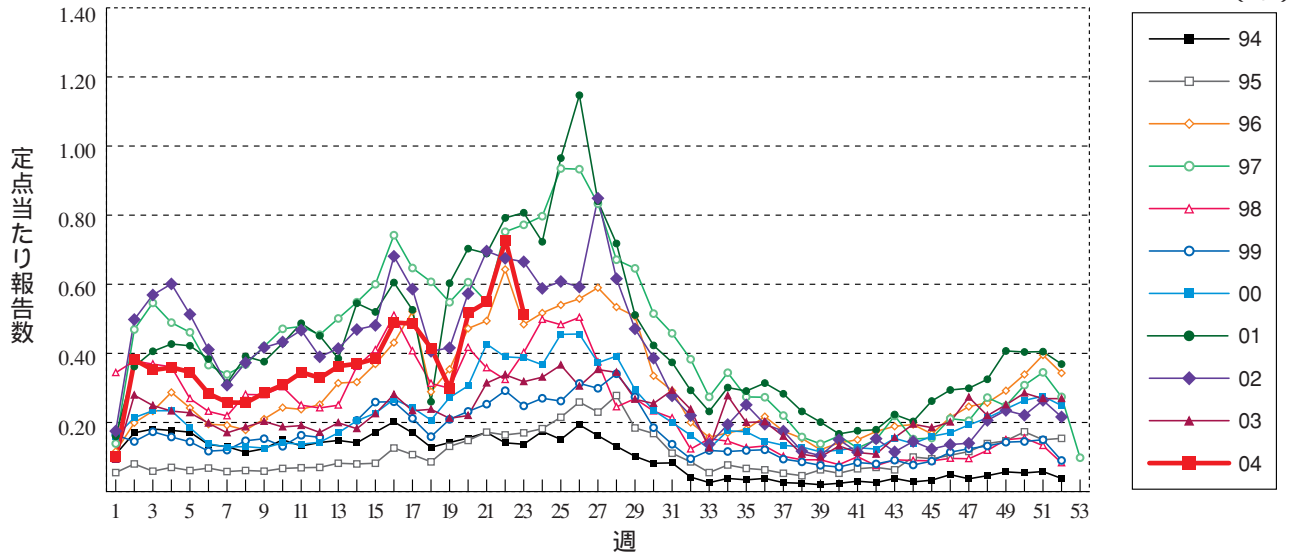
水痘



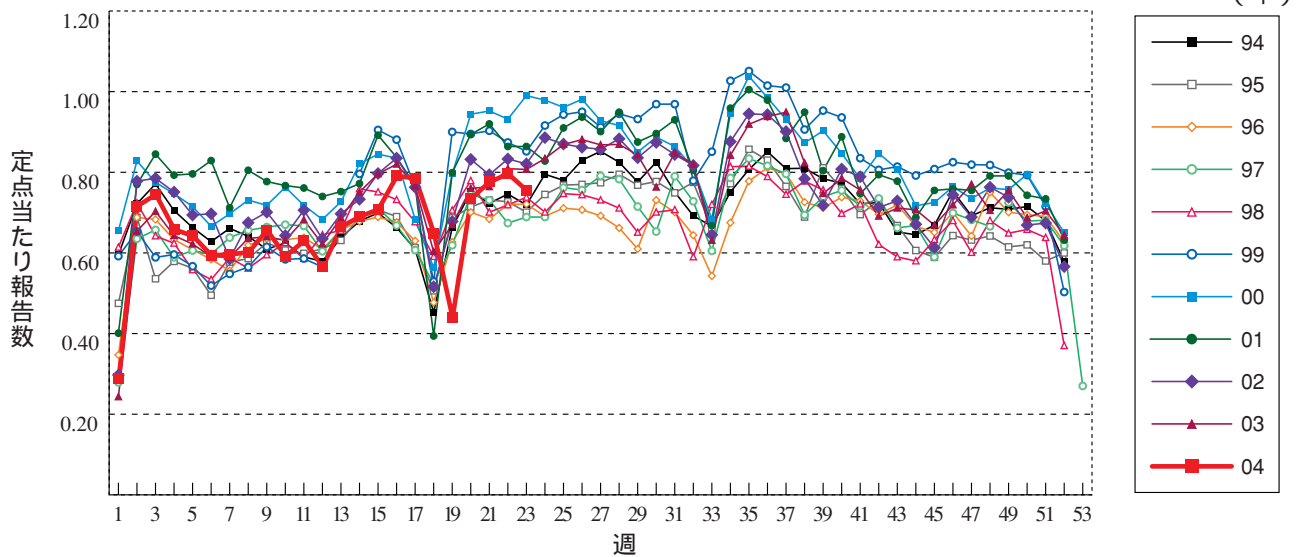
手足口病



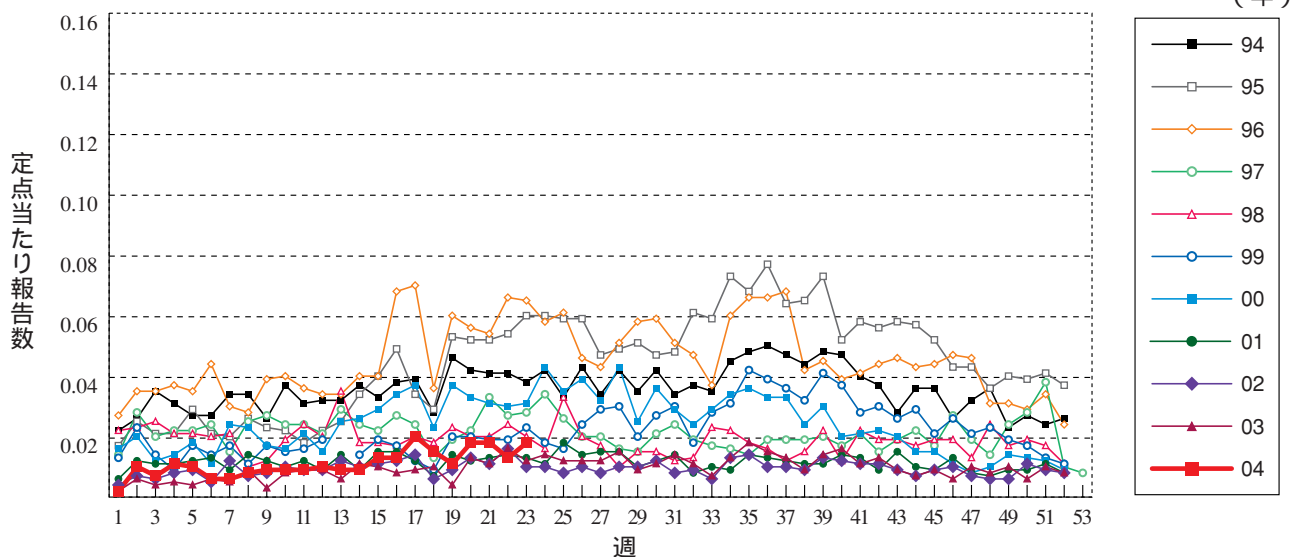
伝染性紅斑



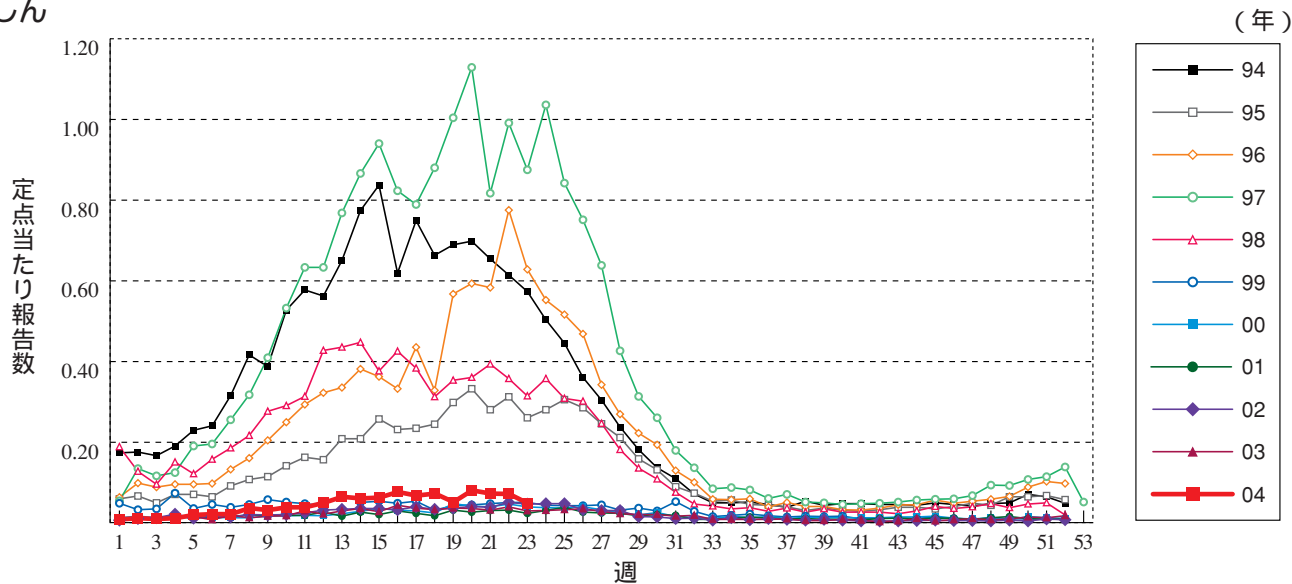
突発性発しん



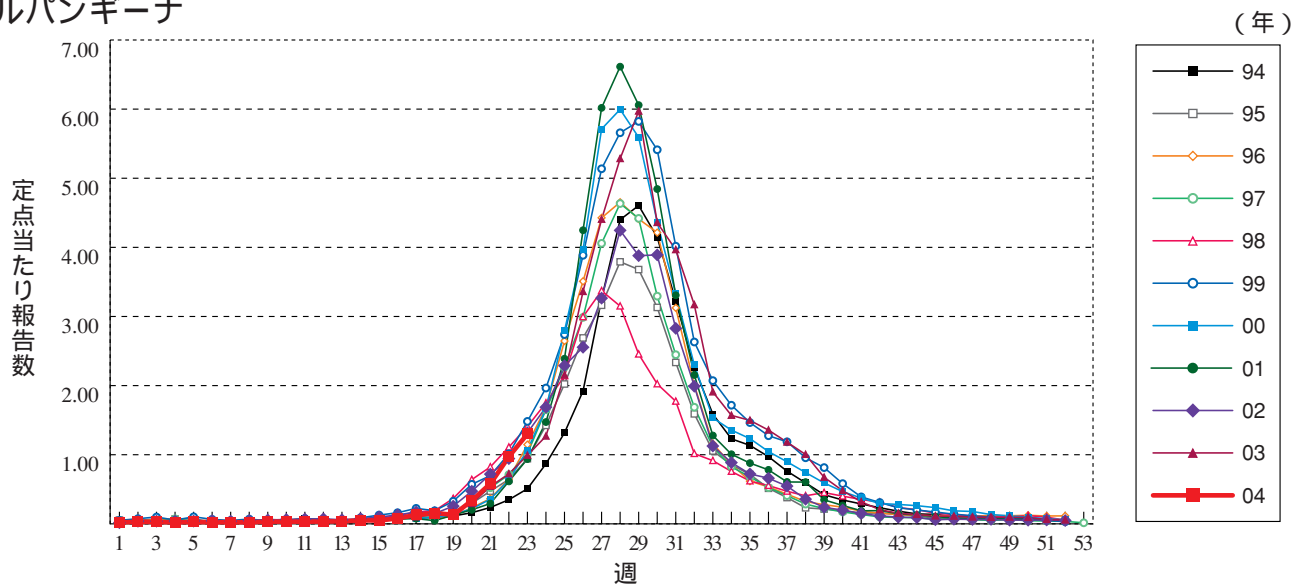
百日咳



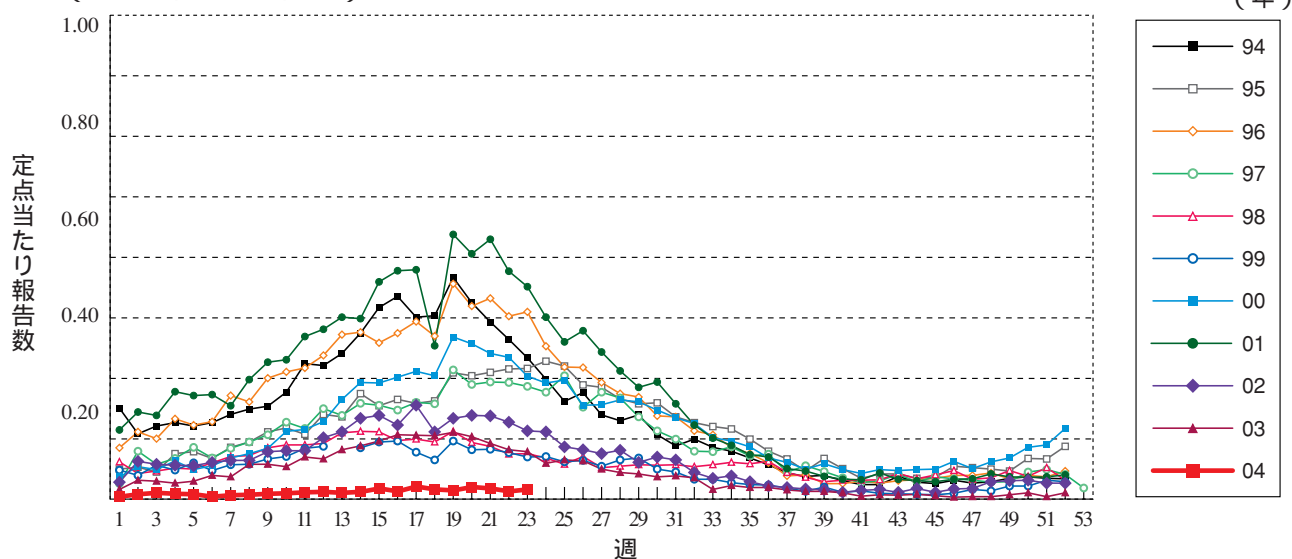
風しん



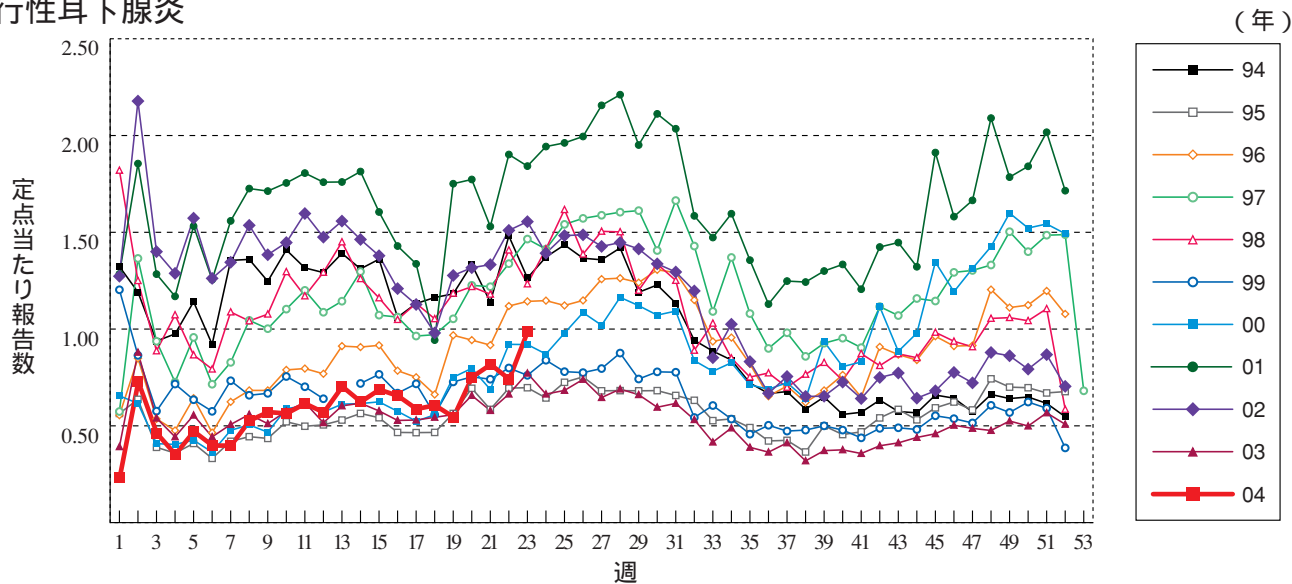
ヘルパンギーナ



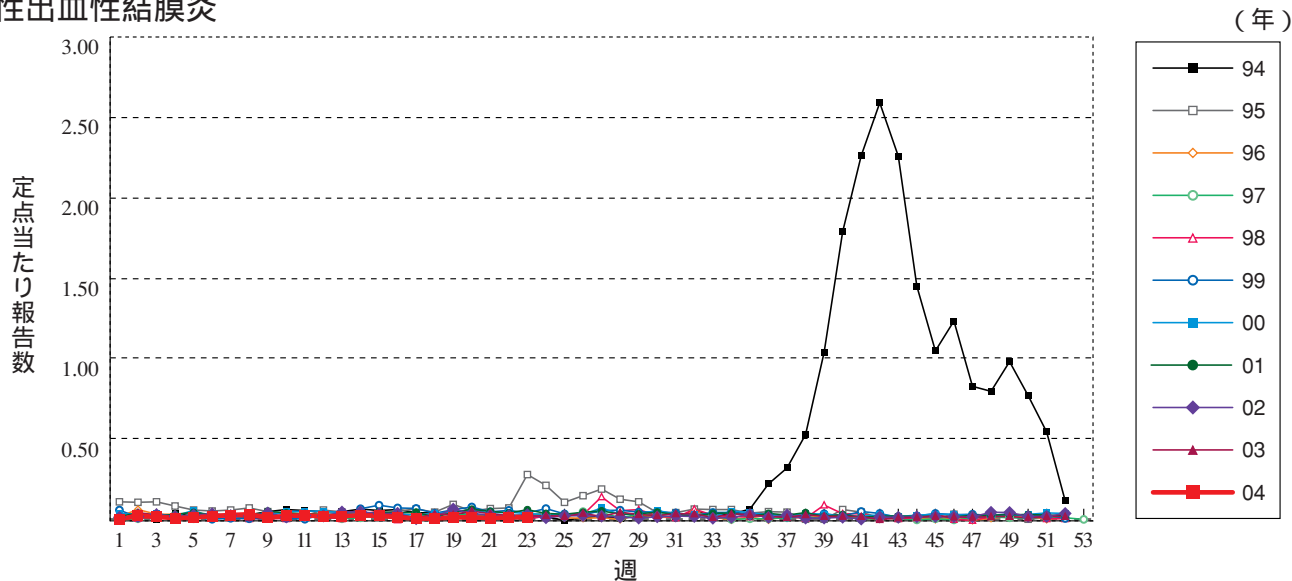
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



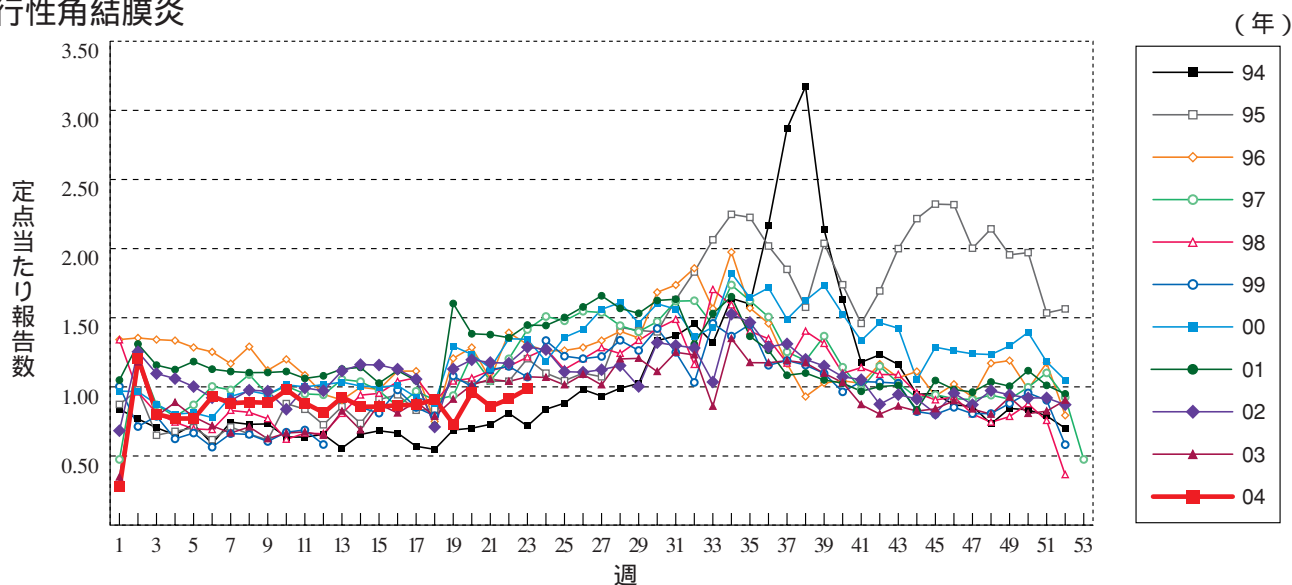
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

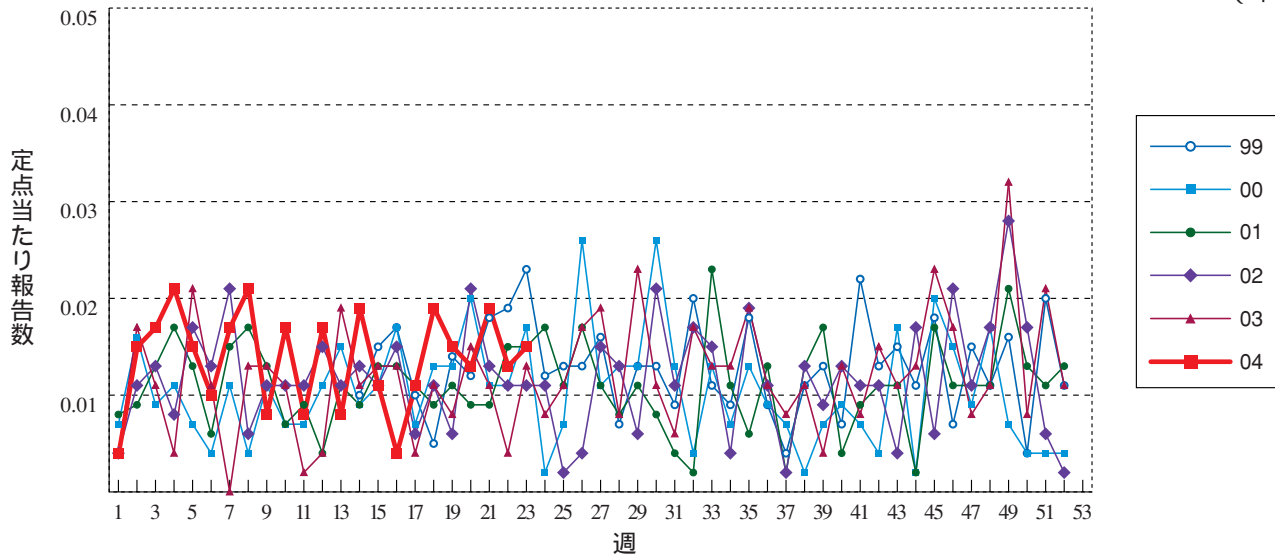


流行性角結膜炎



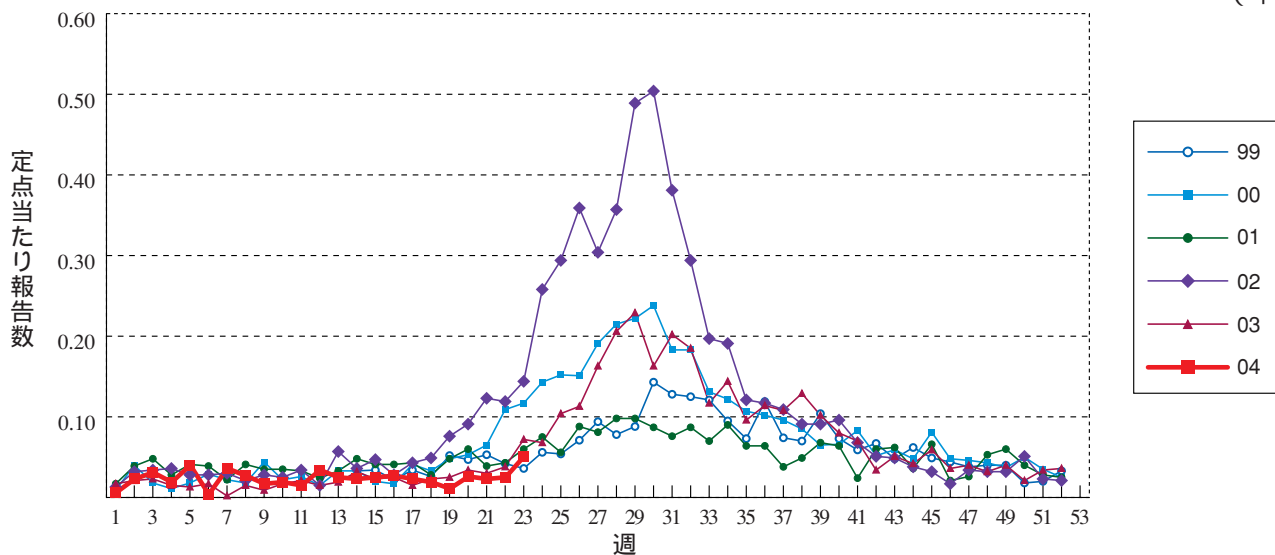
細菌性髄膜炎

(年)



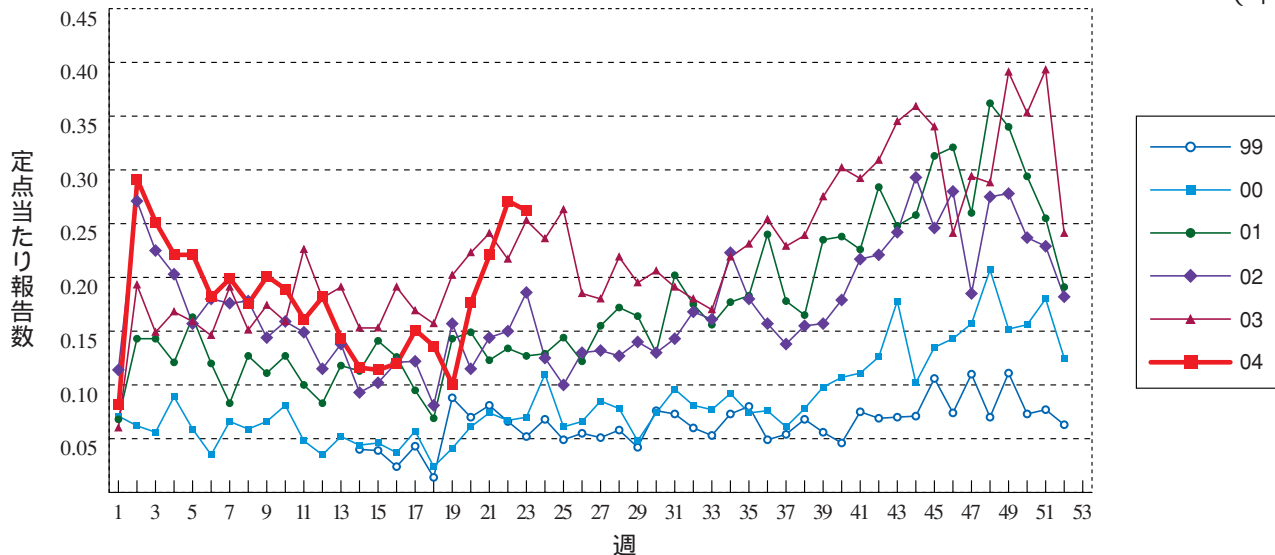
無菌性髄膜炎

(年)



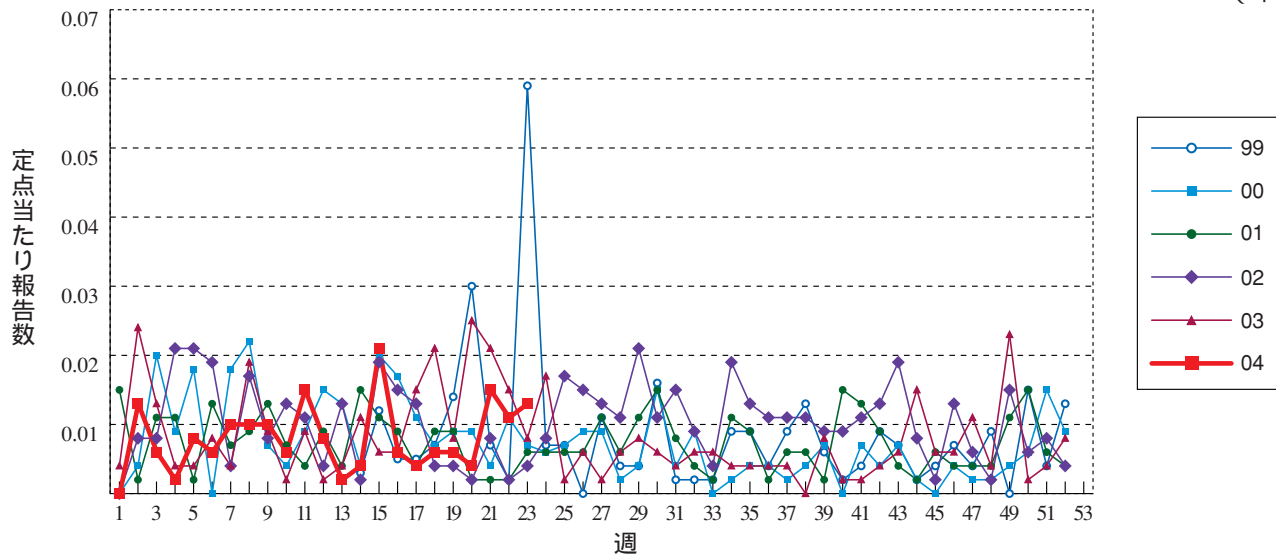
マイコプラズマ肺炎

(年)



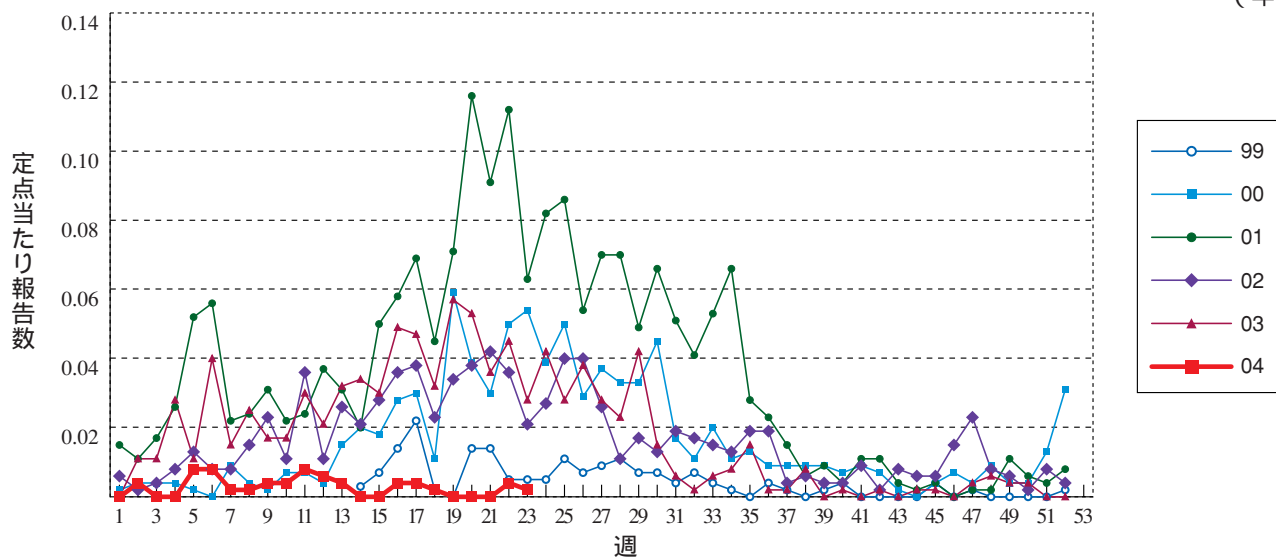
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





23週のデータ

注)表中の報告数は6月10日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年23週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4	193	1	30	1	33	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	1	-	1	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	3	1	5	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	59	-	8	-	6	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	21	-	3	-	1	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年23週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	81	568	8	239	-	14	-	-	1	24	-	-	3	123
北海道	-	-	-	-	1	6	-	4	-	14	-	-	-	1	-	-	1	3
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	20	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	2	20	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	6	60	3	63	-	-	-	-	-	1	-	-	-	22
神奈川県	-	-	-	-	3	10	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	2	6	-	12	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	3	22	1	19	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	6	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	3	38	-	24	-	-	-	-	-	5	-	-	2	15
兵庫県	-	-	-	-	4	34	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
奈良県	-	-	-	-	-	9	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	17	76	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	1	19	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	5	23	1	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	6	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	2	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	6	17	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年23週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	5	1	67	1	32	9	420	-	1	1	30	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	3	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	16	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	5	-	4	-	5	3	167	-	-	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	29	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	3	50	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成16年23週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	3	-	-	7	83	-	6	1	7	-	1	13	202	2	30
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	4	1	2	-
東京都	-	3	-	1	-	-	5	-	4	-	-	-	-	2	26	-	1	-
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	1	1	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13	-	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	31	-	2	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	9	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	1	3	-	3	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年23週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	23	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24	-	2	6	50
北海道	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	3
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年23週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	10	-	-	3	77	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 平成16年23週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	-	31	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日：平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」, 定点疾患「急性脳炎」 全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年23週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	97	0.02	1812	0.60	6187	2.03	13928	4.58	6060	1.99	889	0.29	1558	0.51	2296	0.75	54	0.02
北海道	22	0.10	72	0.50	442	3.09	353	2.47	323	2.26	28	0.20	31	0.22	67	0.47	1	0.01
青森県	1	0.02	25	0.60	41	0.98	113	2.69	64	1.52	3	0.07	8	0.19	24	0.57	-	-
岩手県	-	-	4	0.11	97	2.62	106	2.86	81	2.19	-	-	20	0.54	22	0.59	1	0.03
宮城県	8	0.09	36	0.61	173	2.93	308	5.22	183	3.10	2	0.03	52	0.88	64	1.08	-	-
秋田県	-	-	26	0.74	84	2.40	158	4.51	64	1.83	1	0.03	1	0.03	13	0.37	-	-
山形県	-	-	14	0.47	154	5.13	166	5.53	47	1.57	-	-	19	0.63	24	0.80	2	0.07
福島県	-	-	48	1.00	134	2.79	338	7.04	132	2.75	3	0.06	19	0.40	32	0.67	-	-
茨城県	-	-	47	0.64	200	2.70	174	2.35	106	1.43	8	0.11	13	0.18	32	0.43	4	0.05
栃木県	-	-	18	0.39	97	2.11	190	4.13	62	1.35	1	0.02	18	0.39	38	0.83	3	0.07
群馬県	-	-	14	0.23	110	1.77	198	3.19	142	2.29	2	0.03	84	1.35	43	0.69	-	-
埼玉県	-	-	104	0.65	434	2.71	778	4.86	284	1.78	47	0.29	185	1.16	141	0.88	3	0.02
千葉県	-	-	95	0.72	405	3.07	516	3.91	287	2.17	44	0.33	138	1.05	107	0.81	3	0.02
東京都	-	-	71	0.50	187	1.32	516	3.63	176	1.24	25	0.18	79	0.56	91	0.64	-	-
神奈川県	1	0.00	191	0.93	373	1.82	766	3.74	421	2.05	33	0.16	185	0.90	196	0.96	1	0.00
新潟県	-	-	38	0.63	247	4.12	290	4.83	169	2.82	5	0.08	65	1.08	51	0.85	1	0.02
富山県	-	-	51	1.76	103	3.55	184	6.34	89	3.07	6	0.21	17	0.59	21	0.72	-	-
石川県	-	-	34	1.17	61	2.10	139	4.79	66	2.28	18	0.62	24	0.83	20	0.69	-	-
福井県	-	-	49	2.23	36	1.64	208	9.45	75	3.41	1	0.05	13	0.59	17	0.77	4	0.18
山梨県	-	-	-	-	52	2.08	103	4.12	16	0.64	-	-	14	0.56	7	0.28	-	-
長野県	15	0.17	10	0.18	134	2.44	359	6.53	171	3.11	20	0.36	43	0.78	37	0.67	-	-
岐阜県	-	-	24	0.45	54	1.02	69	1.30	114	2.15	6	0.11	9	0.17	25	0.47	2	0.04
静岡県	-	-	32	0.37	106	1.23	444	5.16	204	2.37	34	0.40	50	0.58	92	1.07	1	0.01
愛知県	1	0.01	113	0.62	286	1.57	443	2.43	298	1.64	40	0.22	87	0.48	119	0.65	5	0.03
三重県	-	-	25	0.56	116	2.58	228	5.07	118	2.62	9	0.20	7	0.16	44	0.98	-	-
滋賀県	-	-	35	1.06	26	0.79	171	5.18	74	2.24	1	0.03	6	0.18	25	0.76	-	-
京都府	-	-	6	0.08	65	0.86	359	4.72	83	1.09	10	0.13	26	0.34	51	0.67	2	0.03
大阪府	5	0.02	50	0.26	338	1.73	908	4.66	348	1.78	45	0.23	58	0.30	134	0.69	5	0.03
兵庫県	4	0.02	93	0.73	166	1.30	746	5.83	244	1.91	189	1.48	68	0.53	91	0.71	3	0.02
奈良県	-	-	25	0.71	56	1.60	161	4.60	43	1.23	18	0.51	12	0.34	26	0.74	-	-
和歌山県	-	-	33	1.06	54	1.74	149	4.81	97	3.13	3	0.10	11	0.35	22	0.71	2	0.06
鳥取県	-	-	3	0.16	75	3.95	154	8.11	28	1.47	-	-	3	0.16	12	0.63	-	-
島根県	3	0.08	37	1.61	22	0.96	147	6.39	41	1.78	2	0.09	4	0.17	17	0.74	-	-
岡山県	-	-	27	0.50	63	1.17	274	5.07	85	1.57	9	0.17	14	0.26	36	0.67	-	-
広島県	14	0.12	63	0.84	103	1.37	461	6.15	128	1.71	6	0.08	40	0.53	53	0.71	2	0.03
山口県	16	0.23	32	0.65	76	1.55	383	7.82	111	2.27	4	0.08	5	0.10	46	0.94	-	-
徳島県	-	-	23	1.00	31	1.35	98	4.26	31	1.35	2	0.09	6	0.26	13	0.57	-	-
香川県	-	-	16	0.50	41	1.28	111	3.47	47	1.47	2	0.06	9	0.28	19	0.59	-	-
愛媛県	-	-	20	0.51	127	3.26	335	8.59	100	2.56	13	0.33	13	0.33	26	0.67	-	-
高知県	-	-	14	0.45	58	1.87	80	2.58	48	1.55	6	0.19	6	0.19	10	0.32	-	-
福岡県	2	0.01	29	0.24	299	2.49	787	6.56	264	2.20	121	1.01	35	0.29	142	1.18	5	0.04
佐賀県	-	-	21	0.91	40	1.74	44	1.91	49	2.13	12	0.52	-	-	23	1.00	1	0.04
長崎県	-	-	10	0.23	42	0.95	178	4.05	52	1.18	19	0.43	5	0.11	23	0.52	-	-
熊本県	-	-	19	0.39	105	2.14	285	5.82	87	1.78	1	0.02	7	0.14	60	1.22	1	0.02
大分県	-	-	11	0.31	69	1.92	329	9.14	84	2.33	12	0.33	30	0.83	38	1.06	-	-
宮崎県	-	-	64	1.78	105	2.92	295	8.19	139	3.86	5	0.14	10	0.28	38	1.06	-	-
鹿児島県	-	-	25	0.44	56	0.98	297	5.21	143	2.51	12	0.21	4	0.07	49	0.86	1	0.02
沖縄県	5	0.09	15	0.44	44	1.29	29	0.85	42	1.24	61	1.79	5	0.15	15	0.44	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年23週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	147	0.05	3975	1.31	61	0.02	3006	0.99	14	0.02	628	0.99	7	0.01	24	0.05	124	0.26
北海道	1	0.01	18	0.13	1	0.01	129	0.90	-	-	17	0.59	-	-	-	-	3	0.12
青森県	3	0.07	25	0.60	-	-	28	0.67	-	-	6	0.55	-	-	-	-	4	0.67
岩手県	-	-	18	0.49	-	-	20	0.54	-	-	15	1.25	-	-	-	-	9	0.45
宮城県	3	0.05	9	0.15	-	-	25	0.42	-	-	1	0.09	-	-	-	-	9	0.75
秋田県	3	0.09	7	0.20	-	-	4	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.71
山形県	1	0.03	5	0.17	-	-	29	0.97	-	-	9	1.13	1	0.10	-	-	12	1.20
福島県	6	0.13	9	0.19	3	0.06	44	0.92	1	0.08	25	2.08	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	23	0.31	8	0.11	32	0.43	-	-	34	2.13	-	-	-	-	14	1.27
栃木県	15	0.33	33	0.72	11	0.24	7	0.15	1	0.08	14	1.17	-	-	4	0.57	-	-
群馬県	16	0.26	7	0.11	2	0.03	77	1.24	-	-	26	1.86	-	-	-	-	11	1.10
埼玉県	10	0.06	87	0.54	1	0.01	280	1.75	1	0.03	35	0.95	-	-	-	-	-	-
千葉県	5	0.04	92	0.70	1	0.01	158	1.20	1	0.03	32	0.97	-	-	-	-	1	0.11
東京都	10	0.07	145	1.02	1	0.01	67	0.47	-	-	7	0.50	1	0.04	2	0.08	-	-
神奈川県	10	0.05	71	0.35	-	-	174	0.85	-	-	40	0.95	-	-	2	0.17	1	0.08
新潟県	2	0.03	8	0.13	-	-	81	1.35	-	-	6	0.67	-	-	-	-	11	0.85
富山県	1	0.03	40	1.38	-	-	36	1.24	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	49	1.69	-	-	8	0.28	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	135	6.14	-	-	32	1.45	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	5	0.20	-	-	5	0.20	-	-	3	1.00	-	-	-	-	3	0.30
長野県	1	0.02	30	0.55	-	-	46	0.84	-	-	2	0.18	-	-	-	-	7	0.64
岐阜県	-	-	93	1.75	2	0.04	104	1.96	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	121	1.41	-	-	123	1.43	-	-	4	0.20	2	0.20	-	-	1	0.10
愛知県	2	0.01	514	2.82	-	-	228	1.25	-	-	24	0.69	-	-	2	0.15	7	0.54
三重県	-	-	177	3.93	1	0.02	29	0.64	1	0.08	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	5	0.15	35	1.06	-	-	30	0.91	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	3	0.43
京都府	3	0.04	129	1.70	2	0.03	38	0.50	1	0.06	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	393	2.02	8	0.04	229	1.17	-	-	23	0.47	-	-	1	0.07	-	-
兵庫県	2	0.02	295	2.30	6	0.05	151	1.18	-	-	30	0.86	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	74	2.11	-	-	30	0.86	-	-	5	0.56	-	-	2	0.33	2	0.33
和歌山県	-	-	30	0.97	-	-	45	1.45	-	-	1	0.25	1	0.09	3	0.27	2	0.18
鳥取県	-	-	33	1.74	-	-	18	0.95	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	27	1.17	-	-	18	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	55	1.02	3	0.06	31	0.57	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	136	1.81	-	-	94	1.25	-	-	24	1.20	-	-	-	-	5	0.26
山口県	1	0.02	73	1.49	-	-	112	2.29	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	84	3.65	7	0.30	6	0.26	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	61	1.91	-	-	20	0.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	239	6.13	-	-	26	0.67	1	0.14	16	2.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	34	1.10	2	0.06	23	0.74	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.11
福岡県	20	0.17	203	1.69	1	0.01	235	1.96	4	0.15	15	0.58	-	-	1	0.07	3	0.20
佐賀県	-	-	16	0.70	-	-	49	2.13	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	61	1.39	-	-	16	0.36	1	0.13	16	2.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	122	2.49	-	-	21	0.43	-	-	13	1.44	1	0.07	-	-	2	0.13
大分県	8	0.22	34	0.94	-	-	10	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	1	0.03	89	2.47	-	-	12	0.33	-	-	11	2.75	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	6	0.11	28	0.49	1	0.02	14	0.25	-	-	8	1.14	-	-	4	0.33	2	0.17
沖縄県	4	0.12	3	0.09	-	-	12	0.35	-	-	100	10.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年23週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	6	0.01	1	0.00	21
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	3	0.25	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.10	-
福島県	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	...
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第23号 平成16年6月18日発行
 発行: 国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。